

ソウル市の都市農業の推進現況と今後の課題

イ・チャンウ / 韓国都市農業研究所所長

目次



- 意義と必要性 ●
- ソウル市の都市農業の推進現況 ●
- 今後の課題 ●



意義と必要性



都市農業の概念と機能

都市農業: 都市にある建築物や土地など多様な空間を活用した農業活動



都市農業の意義と必要性

持続可能な都市づくりに貢献

社会的機能

- 共同体文化の回復
- 生産的余暇活動
- 心身の癒やし、ストレス解消
- 家族、近所とのコミュニケーションの場

環境的機能

- ヒートアイランド現象緩和
- 気候変動への対応
- 資源循環、環境改善
- 都市の生態系復元

経済的機能

- 健康食品の提供
- グリーン経済構築
- 雇用創出



高齢化社会への適合

リタイヤ後の
雇用創出

耕作活動による
健康維持、
精神的癒やし

高齢者の
共同体文化形成



ソウル市の都市農業の推進現況



ソウル市の都市農業の現況



都市農業活動の動機



都市農業の実践時間

ソウル市における都市農業関連機関・団体の現況(2018年12月末現在)

合計	支援センター	教育機関	共同体	社会的企業	共同組合	登録団体	
						非営利	社団法人
165	5	6	16	15	96	13	14

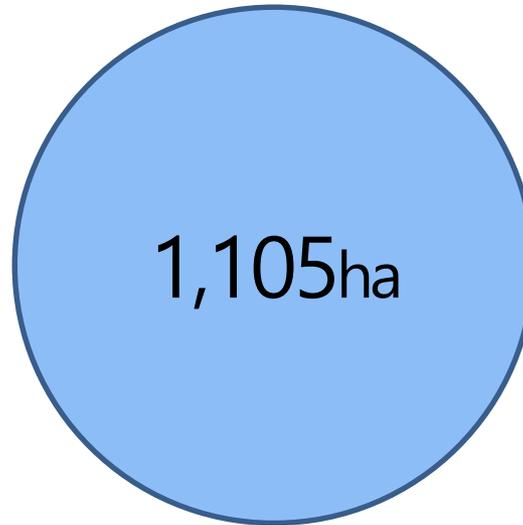
都市農業と一般農業の関係

ソウルの一般農業の現況(2017年)

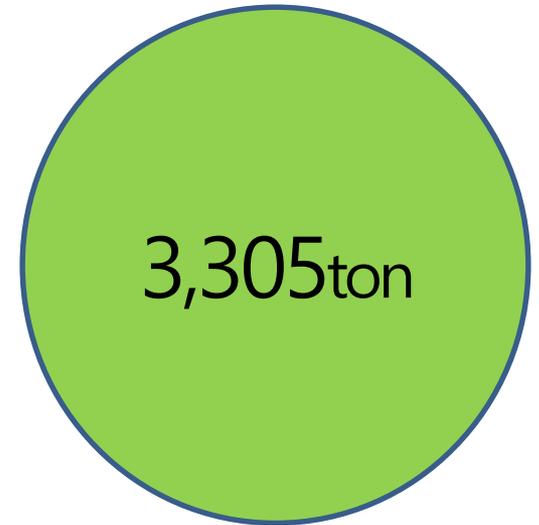
農家数



農地面積



野菜生産量



ソウル市江東区の都市農業タイプ別菜園現況

区分	2010～2013	2014～2015	2016～2017	2018
区画	3,800	6,000	7,600	7,612
面積	68,704㎡	117,645㎡	151,616㎡	161,244㎡

区分	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
都市菜園区画数	800	2,300	3,800	5,300	6,000	7,000	7,600	7,612

- 2018年の運営規模：42箇所、7612区画、161,244㎡

区分	分譲菜園	テーマ菜園	民営共同体菜園	民間施設菜園	地区住民センター菜園
区画	1,817	30,427	1,297	1,627	426
面積	48,741㎡	30,427㎡	30,379㎡	46,577㎡	5,120㎡

- 運営原則：環境にやさしい3NO農業の実践(化学肥料、合成農薬、ビニールマルチング)

- 菜園タイプ

- ① 分譲菜園：江東区が直接分譲および管理。毎年年初に分譲者募集および選定(1世帯1区画が原則)
- ② テーマ菜園：江東区で直接分譲および管理。社会的配慮者、高齢者菜園および体験、実習中心のテーマ型菜園
- ③ 民営共同体菜園：民間で分譲および管理し、菜園共同体を構成。5世帯以上で共同体を構成。100㎡以上の菜園を運営
- ④ 民間施設の菜園
- ⑤ 地域住民センターの菜園

ソウル市江東区の主要都市農業施設の現況

都市農業ファーマックス(farmix)センター

- オープン：2018. 6. 8.
- 住所：上一洞山62-1他1筆地(ミョンイル近隣公園共同体菜園隣接)
- 規模：397.14 m² / 地上1階
- 建設費：1,579百万ウォン(国600、市 819、区160)
- 運営方法：直営(定着後、民間に委託予定)
- 運営時間：年中 09:00～20:00
- 運営スタッフ(計画)：運営スタッフ: 8名(フレックスタイム制任期制1、種の図書館 2、ブックカフェ1、期間制など 4)



ファーマックスセンター主要施設および用途

施設名	規模 (m ²)	用途
多目的講堂	84.24	都市農業専門家課程など14講座を運営
起業工作所	77.22	菜園料理、伝統食品などの教育、実習、起業活動
ブックカフェ	48.60	住民の休憩スペース(コーヒー、図書など)、共同体活動および会議
種の図書館	25.20	特産種子300種の展示および貸与
管理準備室	27.09	管理スタッフ勤務、講師プログラム準備など



ソウル市江東区の主要都市農業施設の現況



都市農業支援センターとシンシンドリーム

① 都市農業支援センター

- 位置：江東区東南路 922 (高德洞302)
- 規模：地上2階、建築面積198.88 m² (のべ面積397.76 m²)
- 主要施設
 - 1階: エコ農産物直販所 (シンシンドリーム)、前処理作業場、低温貯蔵庫
 - 2階: 都市農業支援センター事務室、農資材倉庫、残留農薬検査室、会議室 (講義室兼)
 - 屋上: 屋上菜園 (休憩所および野外講義室として活用)

② エコ農産物直売所シンシンドリーム

- 規模：計164m² (50坪) - 店舗102m² (30坪)、前処理作業場40m² (13坪)、低温貯蔵庫22m² (6.8坪)
- 登録会員数：10,370 (2018年)
- 運営方法
 - 地域のエコ農家で生産した農産物を中間流通マージンなしに直接取り引き (市販価格の70%程度)
 - Shop in Shopスタイルの販売方式で生産者の写真や情報を表示

収穫～販売プロセス



農産物収穫



残留農薬検査



小分けおよび包装



製品情報入力



陳列および販売

ソウル市江東区の都市農業の中長期ビジョン(2019-2030)

ビジョン	誰もが幸せな暮らしの中の都市農業			
価値	共に分かち合う江東		緑の健康な江東	
目標	共に取り組む都市農業(社会文化、協治)	豊かな都市農業(経済、福祉)	明るい緑の都市農業(環境、気候変動)	癒やす都市農業(健康、衛生)
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農業の価値共有、地域共同体の活性化 ・社会的価値を増進させる都市農業 ・区民主導の都市農業 ・都市農業支援制度改善 ・都市農業教育・文化活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農業の雇用・仕事創出 ・都市農業分野の新産業育成 ・ライフサイクルに合わせた都市農業 ・共に分かち合い楽しむ都市農業 ・社会的経済単位の構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来型都市農業の基盤づくり ・都市エネルギー問題への対応 ・循環型都市農業 ・都市の快適さ向上 ・生物多様性増進 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品健康のための都市農業 ・健康を守る都市農業 ・安全な都市農業の基盤拡充 ・エコ・有機農都市農業の遵守 ・癒やし型都市農業の活性化

都市農業公園

- 2013年5月、都市公園緑地法が改正され、テーマ公園として都市農業公園を新設できるようになり、公園内の菜園造成が可能となった。
- 2016年現在、韓国の都市農業公園は7箇所、103,444 m²、参加者22,389人
- ソウル市の事例
 - ヒャンリム都市農業体験
 - 恩平区仏光洞 458-1一帯。24,615m²。菜園、水田、癒やし庭園、薬用植物園、堆肥場。
 - 仏巖山ハーブ公園菜園
 - 蘆原区上溪洞 95-336。1,100m²。公園内の遊休空間を活用した菜園を造成。
 - 江東都市農業公園
 - 江東区遁村洞565一帯。12,000m²。観察菜園、伝統農機具展示館
 - 冠岳都市農業公園
 - 三成洞(新林洞)山86-6。15,000m²。菜園、子供の森、ハーブ園、多目的館

ヒャンリム都市農業体験院



社会的弱者環境教育
(障害者菜園学校)



プログラム運営(生態公園と連携
した子供農夫学校)



菜園管理

仏巖山ハーブ公園菜園



仏巖ハーブ公園



仏巖ハーブ公園



仏巖ハーブ公園

江東都市農業公園



【 農夫体験センター 】



【 観察農園 】



【 伝統農機具展示館 】

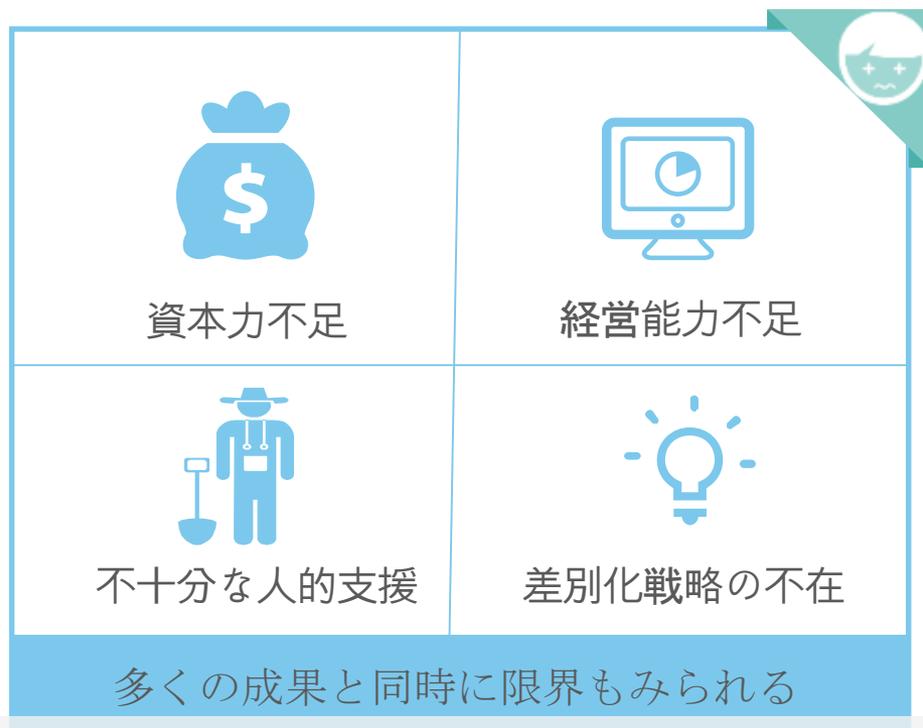
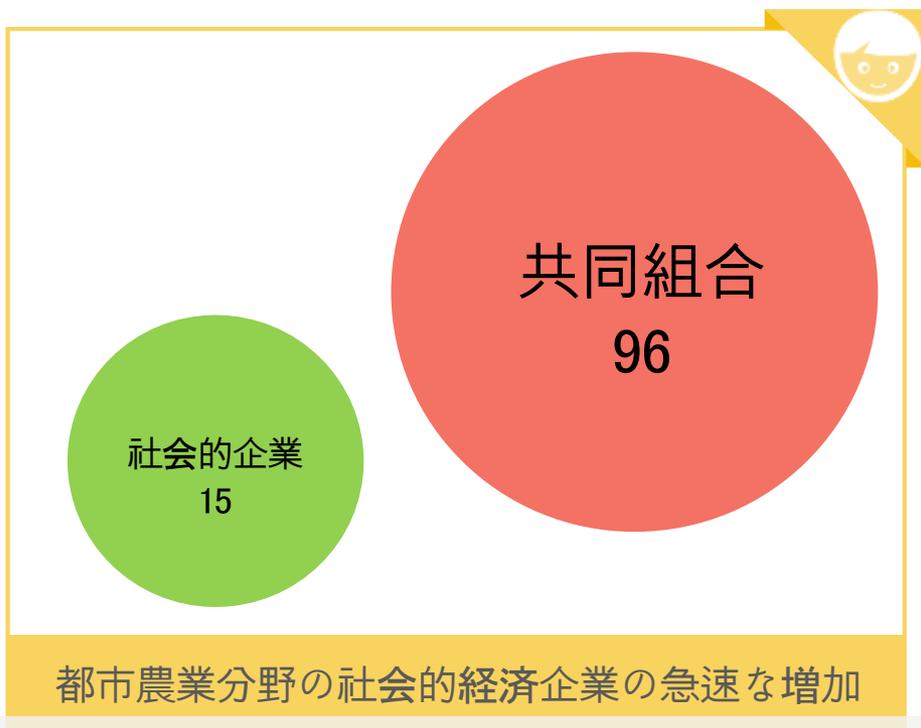


【 チャンスン(人面の神木)とソッテ(神杆) 】

冠岳都市農業公園



ソウル市都市農業分野の社会的経済企業の現況(2018年現在)



今後の課題



都市農業公園の課題

- **生活圏の公園緑地として都市農業活用スペースを造成**
 - 市民の生活圏内の遊休地や遊休建築物を活用し、共同体菜園や屋内農場を造成し、生活圏の公園緑地の役割を果たす。
- **都市公園造成計画に都市農業を含める**
 - 市民参加型公園造成管理の優れた政策手段が公園内の菜園造成
- **都市農業と都市公園政策を連携した多様な政策手段の活用**
 - 都市農業公園、食べ物の森、公園内菜園のタイプ分類、ガイドライン作成
- **都市農業と都市公園の連携は転換期の都市農業政策の望ましい方向性**
 - 市民の健康増進をはじめとする都市農業の多元的価値を考慮しつつ量より質を重視する都市農業政策推進の方向性に合致する政策

都市農業分野の社会的経済企業の課題

- 都市農業は、教育、福祉、癒やし、生物多様性、環境、文化、芸術、共同体、社会的連帯など、様々な領域にわたる多元的価値を持つ。
- 都市農業分野において効果的に雇用を創出するためには、単純な雇用の提供という概念から脱し、多元的価値の領域と雇用が結びついた新たなビジネスモデルの開発が必要



都市農業関連事業の方向性の多角化

- ビジネスモデルとしての市民への農業教育、青少年の農業体験教育
- 都市菜園のスペースにカフェ、飲食店、売店、工房、書店なども一緒に運営
- 都市農業の現場における案内ガイドスタッフ養成、菜園観光プログラムの開発
- 政府が費用を支出する障害者ボランティアプログラムの開発(社会的農業と連携)
- ファーマーズマーケットと地域農産物を都市菜園で結びつけ、ネットワークを形成

韓国の転換期における都市農業の課題

● 時代の転換

- 気候変動危機の時代（気候変動と大気汚染の密接な関連性）
- 経済成長時代の終焉
- 社会的価値重視

● 都市農業の転換

- 都市農業の成果評価と新たな方向性を模索するのに適切な時期
- 環境にやさしい都市農業を超え、再生的発展に貢献する都市農業へ
- 私的な活動を控え、都市農業の公共性を強調
- 量的成長から質的成長への転換
- 都市農業の価値に対する認識の転換：都市農業と環境、健康、社会的農業